

7月1日は「あぐいほたるの日」

阿久比町では、平成6年7月1日に開催した「ほたるサミットあぐい'94」を記念し、7月1日を「あぐいほたるの日」としています。

さらに、町制施行55周年記念事業として平成20年12月に開催した「子ども議会」での提案を受け、6月20日～7月10日を、町民こぞってホタルを見に出掛ける期間「ホタルと一緒に自然を守らナイト」としています。

ホタルは環境のバロメーターです。家族や友人と水田などにホタルを見に出掛け、小さな淡い光を通して、命や自然の大切さを今一度見つめ直し、考える機会にしてください。



ホタル観察の3つのポイント

1 ホタルは初夏の水辺が大好き

町内の水田などに多く生息するヘイケボタル。1年のうちで最も多く見ることができる時期は、6月中旬～7月中旬の約1カ月間です。

※ 町内でも地区によって発生
の時期に違いがあります。

2 ホタルは日没後の1時間～2時間が一番元気

ホタルが最も元気に活動する時間は、日没後の約1時間～2時間。午後8時～午後9時ごろが、発光するホタルの姿を確認できる時間です。阿久比町が夜のとばりに包まれたころ、暗闇に浮かび上がる淡く美しい光。あちらこちらで元

気に飛び交うホタルを探しに、散歩気分に出掛けてみませんか。

3 ホタルの出現は、天候に左右されます

ホタルを見ることができかどうかは、時間や場所はもちろん、当日の天候にも大きく左右されます。ホタルが最も好むのは、風が無く、蒸し暑い夜です。

ヘイケボタルの一生

7月上旬に、水田や川辺にある草の根元、水ゴケに卵を産み付けます。2週間から3週間ほどで卵がかえり、生まれた幼虫は、7月下旬に光を避けて水の中に入ります。再び陸上に戻り始める時期は、翌年の5月下旬。陸に上がった幼虫は、繭（まゆ）を作り10日ぐらいでさなぎになり、成虫になるときを土の中でじっと待ちます。羽化は6月中旬～7月中旬の長期にわたりますが、成虫として生きていられるのは1週間ぐらいです。その間に子孫を残し、1年間のはかない一生を終えます。



成虫



たまご



さなぎ



幼虫

ホタル分布調査

阿久比町では、毎年ホタルの分布調査を行っています。今年も小中学校の児童・生徒の皆さんの協力を得て実施します。皆さんも、自宅の周りや散歩道などでホタルを見つけた場所をお知らせください。調査結果は、8月1日号の広報あぐいに掲載します。

■ 調査日時 6月24日(水)～26日(金) 午後8時～午後9時

■ 調査方法 調査用紙(地図)にホタルを確認した地点を、赤色の点または線で記入してください。調査用紙は建設環境課・中央公民館・図書館で配布します。

■ 提出期限・提出先 6月29日(月)・建設環境課環境係

※ 夜間の調査ですので、事故などには十分注意してください。ホタルが生息する場所は、水路や水田などの私有地も含まれます。所有者の迷惑にならないようお願いいたします。

■ 問い合わせ先 建設環境課環境係 ☎(48)1111 (内310・317)